

代 表 者

視 察 報 告 書

令和元年12月9日

会派代表者 殿

呉市議会議員

谷 本 誠 一

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 視察期日

令和元年12月7日（土）

2. 調査項目

広島市 全米を動かした一人のママが広島へ
遺伝子組み換え・グリホサートと私たちの健康

3. 参加議員

谷本誠一議員

研修報告書

令和元年12月9日

呉市議会議長殿

呉市議会議員 谷本誠一

次のとおり研修に参加したので報告します。

■研修項目

全米を動かした一人のママが広島へ！

演題＝遺伝子組み換え・グリホサートと私たちの健康

■研修団体及び講師名

タネを守る会広島

ゼン・ハニーカット (Moms Across America)

■研修日

令和元年12月7日(土) 午後6時10分～8時30分

■研修目的

主要農作物種子法廃止に続き、来年1月開会の通常国会では、種苗法改悪が行われようとしている。そうになると自家採取や自家増殖が原則できなくなり、外資や大企業から農家は高額なタネを買わなくてはいけなくなる。

一方我が国では、遺伝子組み替え、ゲノム編集作物が禁止されてなく、特に後者では食品表示は免除されることに先般政府が決定した。これでは安心安全な作物を選択する術が消費者から奪われたことになる。更には残留農薬、使用量共に世界一の我が国において、発癌性物質のグリホサートは未だ禁止されていない。

遺伝子組み換え食品やグリホサートを含有する農薬を禁止する動きを全米展開しておられる取り組みを知り、我が国や呉市においても有機食材給食を早期に導入すべく、その必要性を学ぶ。

■研修内容

ゼン・ハニーカット女史は3人の男の子を9年間育てる中、長男と三男がアレルギー症、次男が自閉症を併発し、その原因が遺伝子組換え食品(GMO)や農薬に含有されるグリホサートであることを突き止めました。実際、GMOを食材から徹底排除した結果、子ども達は僅か4ヶ月で元気になったのです。

このことは医者も知らないことで、政府に怒りをぶつけ、自分がやらねばという思いに突き動かされました。即ち家庭が健康を取り戻すことができても全世界の子ども達を救わないといけなとの思いに駆られ、息子達の同意を得て、非営利団体「食べものを変えたいマ

マプロジェクト (Moms Across America=MAA)」を2013年に持ち上げたのです。12才の時、父に促されて学級委員に立候補を決意、当選したことが、原動力となっているそうです。

メーカーや政府もGMOは安全と言っていますが、そうであれば、GMOの表示ラベルを付けさせてもいいはずですが、それに踏み切ろうとしない政府は、GMOを国民に知らせたくないと同義です。米国食品医薬品局(FDA)はMGOを食品添加物のカテゴリーではなく、敢えて製法として登録させました。これなら食品表示をしなくて済むためです。彼女はGMOの存在を2012年に知りましたが、日本においても殆ど国民には知らされていません。食用油の多くはGMOですし、牛はGMO作物をえさとして与えられ、私たちの口に牛肉として入っていることを知るべきです。米政府はGMOの安全性テストをしていないのです。その中にはポリアミンとカダベリンという2種類の毒物がかなりの高レベルで残留していることが判っています。

最近開発されたゲノム編集作物も遺伝子操作の一種で、あちこちで変異を起こす悲惨な結果を招く恐れがあります。その過程で角のない牛が誕生しています。アメリカも日本もこのゲノム編集は安全であるとして推奨しているのです。

彼女は、これらGMOのことを化学薬品を運び込むシステムであると喝破されました。

一方、グリホサートは除草剤を初めとするあらゆる農薬に混入しており、GMOや非GMOに関わりなく、収穫期に乾燥目的で振りかけられています。具体的には小麦、エンドウ豆、大豆、トウモロコシ等です。これらを洗っても加熱しても、取れないそうです。

これは抗生物質の一種で、特許を出願しています。腸内細菌を殺すため、逆に悪玉最近が腸内に繁殖する要因となります。この結果セロトニンという脳内物質が生成され難くなり、意欲減退、幸福感の欠如からやがては精神疾患に至るのです。メラトニンも生成され難くなることで、睡眠が妨害されます。オーガニック(有機)農作物を食するとメラトニンが生成され、ぐっすり眠れるようになります。

そこでMMAでは、2013年からグリホサート含有テストを開始しました。すると次男の尿から8.7ug/lの数値が検出されました。これは許可基準の8倍もあり、自閉症の症状に直結します。医者に相談すると、腸の検査を勧められ、腸に穴「リーキーガット」が空いていたそうです。ということは、腸内物質が脳に送られず制御不能になっていたのです。そこでグリホサートが多く混入している小麦と砂糖の摂取を断った結果、僅か6週間でグリホサートが検出されなくなり、自閉症状もなくなりました。学校の成績も向上しました。年間医療費何千ドルも不要となった訳です。

母乳にもグリホサートが検出されました。166ug/lで、性ホルモンを変える基準の3千倍もの値でした。

ワクチンにもグリホサートが基準値の25倍入っていることが判明しました。ワクチンの原料の一つゼラチンは、豚から抽出しており、これはGMOのえさを与えられているからです。ワクチンのグリホサートは、脳の血管バリアを壊します。即ちワクチンは水銀、アルミにニウム、グリホサートが脳に侵入するため、非常に危険です。

GMOは主にアメリカの中西部で作付けされており、日米の家畜は殆どがこれをえさとして与えられているのです。

グリホサートは人体の腸のみならず、土壤の微生物を殺し、炭素を保持する力を削ぎます。これが気温を上昇させ、気候変動の要因になっているのです。そして土壤から河川を通じて海に流れ込み、蒸発し雨となって、私達の身に降り注いでいるのです。

その結果、流産や肝臓疾患が増え、発癌に繋がります。グリホサートが原因で癌を誘発したとして、アメリカでは訴訟が起こされています。リー・ジョンソンの場合は1審で20億ドルの損害賠償の支払い命令がメーカーであるモンサントに下され、2審で8千万ドルとなりました。ピリオド夫妻の場合は、何と20億ドルもの支払い命令がモンサントに下されています。早くピリオドを打って欲しいですね。

グリホサートは少量でも悪性乳癌なるリスクが高いことが、研究で判って来ています。GMOを与えられた牛家畜は、肝臓や腎臓に異変が起こっています。えさを変えることで数日で回復したとのこと。

ところで、アメリカの医療費は年間3.5兆ドルに膨れ上がっていますが、この内3.550億ドルが心臓病で、死因の1位となっています。GMOにグリホサートが混入することで、心臓を弱体化させています。そして、自閉症の発生率が急上昇を続けており、近い将来、二人に一人が自閉症になってもおかしくないと予想されています。

そのグリホサートですが、我が国の粉ミルクの80%に混入しているそうです。スナック菓子をテストしたところ、多くの商品から検出されました。これは外国から輸入される小麦の殆どに、乾燥目的で、ラウンドアップアンプに代表されるグリホサート含有除草剤が散布されているからです。トウモロコシを主原料にした菓子からはグリホサートは検出されなかったのは、皮がそれを防護したからでしょう。但し、トウモロコシそのものがGMOなので、安全性は保証できません。

彼女達の運動は、政府やメーカーに対し、GMOやグリホサートを食品表示させることです。日本はアメリカと違って多くの消費者共同組合が存在し、個々の運動ではなく団体としての消費者運動が可能です。「共に手を携え、子ども達を守るため、世界の食産業を変えようではありませんか！」と訴えられました。

まずは食料の原料を知ること。その上で一人一人が小売店やスーパーに対して不買運動を行うのです。「日清製粉や明治乳業等のメーカーに対しても明日から電話しましょう」と呼びかけられました。そして団体の力を利用して「No GMO」を訴えるパレードを行うのです。それに多くの人々が参加することで、メディアも採り上げざるを得なくなります。台湾ではその運動が成功し、政治家にも主張を訴え、100人を越える首長が「No GMO」を約束しました。アメリカでもモンサントやデュボンのCEOとも対話に持ち込むことに成功しました。

イギリスでは、GMOを与えたラットに腫瘍ができたことを捉え、多くの市民が道路上に人間盾を構築し貨物列車を止めました。その2週間後に、GMO表示を余儀なくされたのです。

自然災害で停電になれば、物流が止まり食物が一気に不足します。そこでオーガニック作物を屋上で栽培する自給自足も平行して取り組むことの必要性も説かれました。

日本では「デトックス・プロジェクト・ジャパン」が起ち上がり、髪の毛のグリホサート検査ができるようになりました。検査結果後に、小麦を食べず、オーガニック作物を摂取し1週間後に再検査を受けること。もっと言えば、グリホサート検出率高位の作物、小麦の他にそば、砂糖、大豆、小豆、穀類、卵等を避ければよい結果が出るといいます。

彼女の住む南カリフォルニアでは、スーパーはほぼオーガニック販売に変わりました。消費者が動いた結果です。それでもアメリカでは大豆の80%がGMOで、家畜のえさとしてアジアへ大量輸出しています。ところが人間が食する大豆はトルコから輸入しているのです。勿論非GMO。この大きな矛盾を指摘されました。

自分の住む国で、オーガニックを立法化させることが肝要です。加えてグリホサートの検出テストを義務付けることです。生産者の間でも、グリホサート含有農薬とそうでない農薬とを作付け段階で分別するようになりました。カナダでは、グリホサートを使用しなくなりました。現在33カ国がグリホサートを禁止、若しくは検討中ですが、日米ではノーガードの状況下です。

MAA では母乳や尿検査を行い、GMOを食さないことで子どもが元気になっています。FDAにも1万人の会員が抗議の電話をしました。その結果3回会合を持つこともできました。今ではグリホサート以外も農業検査の手法で手掛けるようになりました。

彼女達は本物を求め、科学的根拠に基づき、正直でありたいと願っています。もうこの運動は誰にも止められません。それは「子どもへの愛」が活動の源泉であるからです。政府が基準を見直さいので、自分達で新基準を作りました。①化学合成物質ではない②オーガニックである③グリホサートの検査をパス - これが第1基準です。これに項目を加算することで第2・第3基準も作り、徐々にハードルを上げているそうです。

また、二酸化炭素を抑制は待ったなしです。2℃気温が上がれば海面上昇により、日米の沿岸部に住む2,400~3,600万人が水没すると言われていています。そこで不耕起(耕さない)栽培(No-Till)による循環型再生農業への転換を推奨されました。農耕民族である日本ではそれが可能だと訴えられました。

最後に、全国ツアーの仕掛け人たる山田正彦元農相が登壇。

来年政府が提出予定の種苗法改正案が成立すると、自家採取や自家増殖が高い金額を納入した登録者以外には禁止されます。専業農家の横田氏は11種類の稲の品種を150haの広大な農地で栽培していますが、その内7tが自家採取で、400kgが種を買っています。種の買い付け費用は500万円ですが、改正法が施行されますと、5,000万円に膨らむというのです。これでは多くの農家がTPPと相まって潰れて行くでしょう。

ハニーカットさんは、中国地方では岡山で講演されることになっていますが、それを「全国で3ヶ所しないジーンバンクを有する広島県に特別にハードスケジュールで起こし頂いた」と、報告されました。この日開会挨拶をされた同バンクの船越建明氏とも再会の握手をされました。

また、韓国ではオーガニックの学校給食を無償提供していることを紹介。遅れている我が国には、千葉県いすみ市がついに有機米給食を始めたことに言及されました。我が国でも「オーガニック給食を行政に求めて行きましょう」と訴えられました。

そして、山田氏を含めて国会議員仲間が先般髪の毛のグリホサート検査を行った際、7割から検出されましたが、当時は検査機関がなく、フランスの機関に5万円で委託しました。その後デトックス・プロジェクト・ジャパンができたので、検査が容易になったことを報告。例え現在悪影響が身体上に現れなかったとしても、黒田純子博士によると、孫やひ孫の代に現れる可能性に触れ、警鐘を鳴らされました。

■質疑応答

- ① トランプ大統領に安部首相が騙され、GMO穀物を大量輸入しているとのことだが、解って上でいいなりにになっているのではないか？

【答弁】

WHOがグリホサートの発癌性を指摘しても、FDAはこれを無視し続けている。大統領も解っていない可能性は高い

- ②日本とアメリカとでは文化が違い、国民は政府を信じ切っているので、民主運動が育ち難い現状がある。

【答弁】

文化の違いは関係ない。できないと思うことが間違い。幸い日本にはグリーンコープを初めとする健全な消費生活協同組合が沢山ある。それを母体にして団結して行けばできないことはないと思う。日本はアメリカより断然歴史が古い。歴史はタネを育てる歴史でもあった。日本にはそれだけの使命がある。

■呉市での展開の可能性

- ①土壌改良材や無農薬栽培への転換農家に対し、土壌改良剤の提供や補助金を交付し、有機農家とその作付けを増やす。
- ②その作物を学校給食に、食数の少ない調理場単位に提供し、食数を徐々に増やして行く。
- ③給食費において、有機作物で食材価格が上がった分を公費助成する。
- ④遺伝子組み換え食品や農薬に含まれるグリホサートの危険性を啓発する。
- ⑤ラウンドアップ除草剤の使用を条例で禁止する。